

2025 年 2 月 18 日 第 1 版

研究協力のお願

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 内科学Ⅱ教室

記

研究の名称	当施設における高齢者の良性胆道閉塞に対する超音波内視鏡下胆道ドレナージ術の治療成績
対象	2014 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までで、本院で良性胆道閉塞に対し、EUS 下肝内胆管ドレナージを試みた患者さんの診療記録や検査データを、治療成績を解析する研究に利用いたします。本学では、45 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日（2025 年 3 月 10 日） ～ 2030 年 2 月 18 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：超音波内視鏡下胆道ドレナージ術 (EUS-guided biliary drainage : EUS-BD) は、術後再建腸管症例や内視鏡的逆行性胆管膵管造影 (Endoscopic retrograde cholangiopancreatography : ERCP) 不能例に対する胆道ドレナージの代替療法として普及しています。ERCP に比べ膵炎の偶発症が少なく、一期的に内瘻化が可能であり、特に高齢者においては外瘻化によるチューブ抜去や ADL 低下のリスクも少ない処置です。近年、高齢化に伴い、高齢者の良性胆道疾患に対して内視鏡治療を行う機会が増加し、EUS-BD を行う症例も少なくありません。そこで今回、高齢者（75 歳以上）の胆管結石や胆管消化管吻合部狭窄などによる良性胆道閉塞に対する EUS-BD の後方視的検討を行います。</p> <p>利用方法：患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、</p>

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 西岡 伸 殿

研究の名称	当施設における高齢者の良性胆道閉塞に対する超音波内視鏡下胆道ドレナージ術の治療成績
-------	---

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）